

## 17-4 カムイユカラ

### 「カンヌサカチューレ」

#### クマゲラとウミスズメの由来

語り：鍋澤ねぶき

V=カンヌサカチューレ

V=kannusakacure

だから

V マクン マサラ

奥の砂浜と

V makun masar

サンケ マサラ

手前の砂浜の

sanke masar

ウトウルフ タ

間に

uturuhu ta

V ポン イタヤ

小さい板屋が

V pon itaya

アン ルウエ ネ

ありました

an ruwe ne

V ネア イタヤ

その板屋は

V nea itaya

V ピシ ワ アラケヘ

浜側の片面に

V pis wa arkehe

V レプ タ ロク ペ  
V rep ta rok pe

沖にいるものが

ニツネ ヒケ  
nitne hike

悪い神も

ペケレ ヒケ  
peker hike

善神も

トゥ ノカ オロケ  
tu noka orke

数多の姿が

アエヌイエカラ  
a=enuyekar

彫られていました

V キム マ アラケヘ  
V kim w\_a arkehe

山側の片面には

V キム タ ロク ペ  
V kim ta rok pe

山にいるものが

ニツネ ヒケ  
nitne hike

悪い神も

ペケレ ヒケ  
peker hike

善神も

トゥ ノカ オロケ  
tu noka orke

数多の姿が

アエヌイエカラ  
a=enuyekar

彫られていました

V エエパキ タ  
V eepaki ta

その次に

V メノコ クワ V menoko kuwa	女の墓標と
オッカヨ クワ okkayo kuwa	男の墓標が
アン ルウエ ネ an ruwe ne	ありました
V メノコ クワ V menoko kuwa	女の墓標
V コッ サランペ V kor_ saranpe	についている絹織物を
V へ…… オマウスイエイエ <sup>[1]</sup> V he... omawsuyeye	風がゆらゆら揺らし、
オマウテスス <sup>[2]</sup> omawtesusu	風がそらしそらししています
V イウオロ ソ クルカ V iwor so kurka	獵場の上に
オパラセ <sup>[3]</sup> ワ oparse wa	宙を舞って
アラパ ヒケ arpa hike	行ったほうは
V トイコムニン V toykomunin	土とともに腐ってしまうのは
エヤイヌヌケ クス eyaynunuke kusu	もったいないので

ヤイカラ カトウ yaykar katu	変身した姿は
V ヤラペニ ネ ルウエ ネ V yarpeni ne ruwe ne	カンボク（肝木）でした
V チカプ ネ ヒケ V cikap ne hike	鳥になったほうは
V チプタチカプ V ciptacikap	舟を彫る鳥（クマゲラ）
ネ ルウエ ネ ne ruwe ne	になったのです
V アトウイ ソ クルカ V atuy so kurka	海面の上へ
オパラセ ワ oparse wa	宙を舞って
アラパ ヒケヘ arpa hikehe	行ったほうが
V ヤイカラ カトウ V yaykar katu	変身した姿は
メナスキ menasuki	ウミスズメ
セコロ アイエ チカプ sekor a=ye cikap	という鳥
ネ ルウエ ネ (セ)コロ ne ruwe ne (se)kor	だったのです、と。

**【注】**

- [1] o- 「～の尻」 maw 「風」 suyeye 「～をゆらゆら揺する (suye の重複形)」で「風が～をゆらゆら揺する＝風で揺れる」。『沙流方言辞典』に「omawsuye **【自動】** [ o-maw-suye その尻・風・ゆらす] (その尻が) 風でゆれる」とある。
- [2] o- 「～の尻」 maw 「風」 tesusu 「～を反らし反らしする (tesu の重複形)」で「風が～をそらしそらしする＝風でそれる」。
- [3] o- 「〈場所〉に」 parse 「宙を舞う」